

福島県 令和8年度当初予算

令和8年2月4日

《モニター画像 1》

令和8年度当初予算について、発表します。

令和8年度当初予算

予算規模

1兆2,606億円

(対前年度比 Δ 212億円)

うち 復興・創生分
1,970億円

2

《モニター画像 2》

一般会計当初予算の総額は、1兆2,606億円です。
これは前年度比で212億円の減となります。
このうち、復興・創生分として1,970億円を計上しました。

令和8年度当初予算

【歳入】 1兆2,606億円

I 県 税	2,418億円
II 地方交付税等	2,398億円
	(うち地方交付税(通常分) 2,234億円 臨時財政対策債 発行なし 震災復興特別交付税 164億円)
III 国庫支出金	1,854億円
IV 繰入金	1,148億円
V 県 債	1,506億円
VI その他	3,282億円

【歳出】 1兆2,606億円

I 義務的経費	4,069億円
II 投資的経費	1,553億円
III 一般行政経費	6,984億円

(注) 金額について、表示単位未満の端数は、記載区分毎に四捨五入している。

《モニター画像 3》

歳入については、県税や地方交付税はもとより、「原子力災害等復興基金」などの各種基金を有効に活用し、必要な財源の確保に努めました。

歳出については、根拠に基づく政策立案の考え方により、徹底した事務事業の見直しに努め、予算編成を行いました。

令和8年度当初予算

- ◆震災と原発事故から15年、第3期復興・創生期間の初年度、県政150周年
- ◆あらゆる主体と連携・共創し、誰もが活躍できる「福島ならではの」の県づくりに向け、「復興・再生」と「地方創生」を一層推進
- ◆長引く物価高への対応、防災力の強化や地球温暖化対策、デジタル変革を推進

総合計画

＜アクションプラン＞

復興計画

ふくしま創生
総合戦略

＜8つの重点プロジェクト＞

復興・再生

地方創生

- | | | | |
|---------------------|-------|------------------|-------------------|
| ① 避難地域等復興加速化プロジェクト | 【ひと】 | ⑤ 輝く人づくりプロジェクト | ⑧ 魅力発信・交流促進プロジェクト |
| ② 人・きずなづくりプロジェクト | | | |
| ③ 安全・安心な暮らしプロジェクト | 【暮らし】 | ⑥ 豊かなまちづくりプロジェクト | |
| ④ 産業推進・なりわい再生プロジェクト | | ⑦ しごとづくりプロジェクト | |
| | 【しごと】 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

令和8年度



＜総合計画に掲げる将来の姿＞
「ひと」「暮らし」「しごと」が調和しながら
シンカ(進化、深化、新化)する豊かな社会

復興・再生

第3期復興・創生期間の
初年度として
復興の取組を着実に前進

地方創生

「ふくしま創生総合戦略」の下、
あらゆる主体と連携・共創し、
人口減少対策を推進

ふくしま
共創チーム



《モニター画像 4》

令和8年度は、震災と原発事故から15年が経過し、第3期復興・創生期間の初年度となります。また、県政150周年の大きな節目を迎える重要な一年であります。

このため、当初予算については、あらゆる主体と連携・共創し、誰もが活躍できる「福島ならではの」の県づくりに向け、「復興・再生」と「地方創生」を一層推進するとともに、長引く物価高への対応に加え、防災力の強化や地球温暖化対策、デジタル変革などを推進していく予算として編成しました。

それでは、新年度予算の主な事業について説明します。

避難地域における復興の加速化



事業再開への支援

営農再開への支援

移住促進に向けた取組

福島国際研究教育機構と
地域との連携

取組内容

- 事業・営農の再開支援
- 移住促進に向けた首都圏での情報発信の強化
- 福島国際研究教育機構（F－R E I）と地域や企業との連携促進
- 復興祈念公園の管理運営
- 双葉地域における中核的病院整備の推進、医療人材の確保 など

《モニター画像 5》

はじめに、避難地域における復興の加速化についてであります。

避難指示の解除が進む中、事業・営農の再開や、更なる移住促進に向けて首都圏での情報発信を強化するほか、福島国際研究教育機構「F－R E I」と地域や企業との連携促進を図っていきます。

また、本年4月に供用開始となる復興祈念公園の管理運営や、双葉地域における中核的病院の整備、さらに、医療人材の確保など、避難地域の復興・再生に最優先で取り組んでいきます。

出会い・結婚・出産・子育て支援、健康長寿の実現

ひと



若者の出会い支援



遠方での出産・健診等の支援



現在の中央児童相談所

新たな中央児童相談所の整備着手



「ふくしま健民アプリ」の活用促進

取組内容

- 若い世代を対象とした大規模マッチングイベントの開催
- 遠方での出産・健診等に係る通院費用の支援拡充
- 産後早期の子育て支援情報の提供や出産時のオプション等の費用支援
- 「こども誰でも通園制度」の本格実施、子育て世帯への住宅取得費用の支援、学校給食費の負担軽減
- 新たな中央児童相談所の整備着手
- 「ふくしま健民アプリ」の活用促進、第Ⅲ期ふくしま県民運動の展開 など 6

《モニター画像 6》

次に、出会い・結婚・出産・子育て支援、健康長寿の実現についてであります。

若い世代を対象とした大規模マッチングイベントを開催するほか、遠方での出産・健診等に係る通院費用の支援拡充、産後早期の子育て支援情報の提供や出産時における、お祝い膳などのオプション等の費用を支援していきます。

また、「こども誰でも通園制度」の本格実施や子育て世帯への住宅取得費用の支援、学校給食費の負担軽減に加え、新たな中央児童相談所の整備に着手するなど、出会い・結婚・出産・子育てといった各ステージにおける支援の更なる充実に取り組んでいきます。

あわせて、新たな「ふくしま健民アプリ」の活用促進や「健康」をテーマとした第Ⅲ期チャレンジふくしま県民運動の展開など、「健康長寿県」の実現に向けた取組を進めていきます。

教育環境の充実

ひと

校内研修会の様子



授業力向上への支援



幼児教育の充実支援



「探究的な学び」の推進



私立学校への就学支援

取組内容

- 授業づくりの指針作成等による授業力向上の支援
- 幼児教育の充実支援
- 小・中・高における地域との共創による「探究的な学び」の更なる推進
- 高校無償化に向けた就学支援金の拡充
- 低所得世帯等に対する私立学校の授業料や入学料の負担軽減 など

7

《モニター画像 7》

次に、教育環境の充実についてであります。

児童生徒の学力向上のため、授業づくりの指針作成等による授業力の向上を支援するほか、幼児教育の充実に向けた支援、小・中・高における地域との共創による「探究的な学び」の更なる推進を通じて、次世代を担う人材の育成に取り組んでいきます。

また、いわゆる高校無償化に向けた就学支援金の拡充、低所得世帯等に対する私立学校の授業料や入学料の負担軽減など、教育環境の充実を図っていきます。

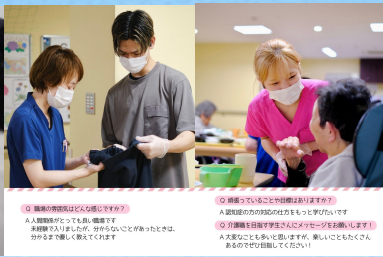
医療・介護体制の充実



医師確保対策の取組



診療所の承継・開業支援



介護職の魅力発信



現在の県立医科大学附属病院

県立医科大学附属病院の
新病棟整備

取組内容

- 更なる医師確保に向けた修学資金の拡充や診療所の承継・開業の支援
- 介護の仕事に関するポータルサイトの開設、SNSによる介護職の魅力発信
- 県立医科大学附属病院の新病棟整備の推進
- 県立障がい者施設等の建替え着手

など

《モニター画像 8》

次に、医療・介護体制の充実についてであります。

更なる医師確保に向けた修学資金の拡充や診療所の承継・開業を支援するほか、介護の仕事に関するポータルサイトの開設、SNSによる介護職の魅力発信など、介護人材の確保にも取り組んでいきます。

また、県立医科大学附属病院における新病棟の整備を着実に進めるほか、県立障がい者施設等の建替えにも着手するなど、保健・福祉の充実・強化に向けた取組を進めていきます。

安心して住み、暮らすための環境づくり

暮らし

河川改修の様子



自然災害に備えた防災力強化



関係機関連携による
防災対策の取組

福島交通（株）ホームページより



公共交通の人材確保

地域診断実施の様子



クマ対策の強化

取組内容

- 除染に伴う仮置場の原状回復の着実な推進
- 自然災害に備えた防災力の強化
- 県・市町村等の連携強化のための防災タイムラインの作成や災害対策本部の円滑な運営体制の整備、若者と連携した防災啓発
- 財政状況の厳しい市町村への支援拡充
- 交通事業者の人材確保や働きやすい職場環境づくりの支援
- ツキノワグマ被害防止対策の強化
- 県民を詐欺等から守る対策の推進 など

9

《モニター画像 9》

次に、安心して住み、暮らすための環境づくりについてであります。

除染に伴う仮置場の原状回復について、国や市町村と共に着実に進めていきます。

災害に強い県づくりに向けては、自然災害に備えた防災力の強化はもとより、県・市町村等の連携強化のための防災タイムラインの作成や災害対策本部の円滑な運営体制の整備、若者と連携した防災啓発などに取り組んでいきます。

また、財政状況の厳しい市町村への支援を拡充するほか、交通事業者の人材確保や働きやすい職場環境づくりを支援し、地域公共交通の維持・確保を図っていきます。

さらに、ツキノワグマ被害防止対策の強化や県民の皆さんを詐欺等から守る対策など、安全・安心な環境づくりを推進していきます。

豊かで持続可能なまちづくり

暮らし



脱炭素化の取組推進



燃料電池トラック等の導入支援



環境保全を担う人材育成



自然公園の魅力発信

取組内容

- カーボンニュートラル実現に向けた意識醸成と実践拡大のため、脱炭素モデル企業への支援や若者との共創による情報発信
- 水素ステーションの整備・運営や燃料電池トラック・バス導入への支援
- 猪苗代湖のラムサール条約登録を契機とした環境保全を担う人材育成や環境学習の受入体制整備
- 自然公園の魅力向上などふくしまグリーン復興構想（第2期）の推進 など

《モニター画像 10》

次に、豊かで持続可能なまちづくりについてであります。

カーボンニュートラル実現に向け、企業や県民の皆さんの意識醸成と実践拡大を一層推進するため、脱炭素モデル企業への支援や若者との共創による情報発信などに取り組むほか、水素ステーションの整備・運営や燃料電池トラック・バスの導入支援など、水素社会の実現に向けた取組を進めていきます。

また、猪苗代湖のラムサール条約登録を契機として、将来の環境保全を担う人材の育成や環境学習の受入体制の整備に取り組むほか、自然公園の魅力向上など、第2期ふくしまグリーン復興構想を推進していきます。

中小企業等の振興、新産業の創出・集積

しごと



働きやすい職場づくり

県内企業の魅力発信

生産性向上や価格転嫁等の支援

創業関連ベンチャー等の支援

取組内容

- 伴走支援等による企業の働き方改革促進など誰もが働きやすい職場づくりの支援
- SNSの効果的な活用等による若者に届く企業情報の発信強化
- 中小企業等の生産性向上や価格転嫁、販路開拓等の支援
- 県産品の国内外での魅力発信
- 創業関連ベンチャー企業等の成長支援 など

11

《モニター画像 11》

次に、中小企業等の振興、新産業の創出・集積についてであります。

若年層の定着・還流を推進するため、伴走支援等により企業の働き方改革を促進するなど、誰もが働きやすい職場づくりを支援していきます。

また、SNSの効果的な活用等により若者に届くよう企業情報の発信を強化するなど、『感動!ふくしま』プロジェクトを更に拡充していきます。

さらに、中小企業等の生産性向上や価格転嫁、販路開拓等の支援、日本酒を始めとした県産品の国内外での魅力発信など、県内事業者の成長を促進するとともに、創業関連ベンチャー企業等の成長支援等により、新産業の創出・集積を進めていきます。

農林水産業の振興

しごと



新品目の導入など
多様なチャレンジを支援



ドローンの活用

スマート農業の推進



水産業への総合的な支援



暑熱対策や
飼料価格高騰対策

取組内容

- 新品目・新技術の導入や有機農業を軸とした多様な取組にチャレンジする意欲ある担い手を支援
- 多様な主体が連携して取り組む6次化商品の開発支援
- 共同利用によるスマート農業機器等の導入支援
- 水産業の復興に向けた総合的な支援
- 畜産業の暑熱対策や耐暑性の強い飼料作物の導入支援、飼料価格高騰対策 など

12

《モニター画像 12》

次に、農林水産業の振興についてであります。

地球温暖化などに対応するため、新品目・新技術の導入や有機農業を軸とした多様な取組にチャレンジする意欲ある担い手を支援していきます。

また、多様な主体が連携して取り組む6次化商品の開発支援のほか、共同利用によるスマート農業機器等の導入支援などによるスマート農業の推進に取り組んでいきます。

さらに、水産業の復興に向けた総合的な支援の継続に加え、畜産業の暑熱対策や耐暑性の強い飼料作物の導入支援、飼料価格高騰対策にも取り組んでいきます。

交流・移住の促進

魅力発信・交流促進

交流事業の様子

海外旅行博の様子

関係人口の更なる創出

「ふくしまDC」の開催

インバウンド誘客の推進

県政150周年関連の取組

取組内容

- 県・市町村等の取組を発信するポータルサイトの構築や受入体制の整備
- テレワークや副業等に積極的な県外企業への情報発信の強化
- 「ふくしまDC」本番での各種事業の展開
- 通年での観光誘客に向けた効果的な情報発信やリピーターの創出
- 国内外との多様な交流の促進
 - ・ インバウンド誘客、国際チャーター便の運航促進
 - ・ 大ゴッホ展に向けた機運醸成、県政150周年記念事業 など

《モニター画像 13》

次に、交流・移住の促進についてであります。

関係人口の更なる創出に向け、県・市町村等の取組を一元的に発信するポータルサイトの構築や受入体制の整備などに取り組むとともに、テレワークや副業等に積極的な県外企業への情報発信を強化していきます。

また、4月から始まる「ふくしまDC」本番において、各種事業を展開するほか、通年での観光誘客に向け、効果的な情報発信やリピーターの創出を図っていきます。

さらに、海外プロモーションによるインバウンド誘客、台湾便を始めとした国際チャーター便の運航促進に加え、大ゴッホ展に向けた機運の醸成や県政150周年記念事業の実施など、国内外との多様な交流を促進していきます。

風評・風化対策



戦略的な情報発信

企業等と連携した
情報発信関西圏等における
魅力発信

市町村の取組への支援

取組内容

- 根強い風評の払拭と風化の抑制に向けた戦略的な対策
 - ・ 企業等と連携した情報発信
 - ・ 首都圏や関西圏等における復興状況や魅力の発信
 - ・ 市町村が実施する風評払拭に向けた取組への支援

など

《モニター画像 14》

次に、風評・風化対策についてであります。

企業等と連携した情報発信を始め、首都圏や関西圏等における本県の復興状況や魅力の発信に引き続き取り組んでいきます。

さらに、市町村が自らの創意工夫により実施する風評払拭に向けた取組を積極的に支援するなど、根強い風評の払拭と風化の抑制に向け、戦略的に対策を進めていきます。

令和8年度 重点プロジェクトの概要

483事業 3,099億円

「復興・再生」の加速		「地方創生」の推進	
避難地域等復興加速化 内容 ① 安心して暮らせるまちの復興・再生 ② 産業・なりわいの復興・再生 ③ 魅力あふれる地域の創造 38事業 324億円		輝く人づくり ひと 内容 ① 出会い・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実 ② 健康長寿社会の実現 ③ 教育の充実 ④ 誰もが活躍できる社会の実現 123事業 152億円	
人・きずなづくり ひと 内容 ① 日本一安心して子どもを生み、育てやすい環境づくり ② 復興を担う心豊かなたくましい人づくり ③ 産業復興を担う人づくり ④ ふくしまをつなぐ、きずなづくり 40事業 145億円		豊かなまちづくり 暮らし 内容 ① 安全・安心で魅力的な暮らしの実現 ② 環境と調和・共生する暮らしの実現 ③ 過疎・中山間地域の振興 65事業 594億円	
安全・安心な暮らし 暮らし 内容 ① 安全・安心に暮らせる生活環境の整備 ② 帰還に向けた取組・支援、避難者支援の推進 ③ 環境回復に向けた取組 ④ 心身の健康を守る取組 ⑤ 復興を加速するまちづくり ⑥ 防災・災害対策の推進 78事業 288億円		しごとづくり しごと 内容 ① 働き方改革の推進 ② 若者の定着・還流の促進 ③ 中小企業等の振興 ④ 新産業の創出、企業誘致、起業・創業の推進 ⑤ 農林水産業の成長産業化 45事業 813億円	
産業推進・なりわい再生 しごと 内容 ① 中小企業等の振興 ② 新たな産業の創出・国際競争力の強化 ③ 農林水産業の振興 ④ 観光業の振興 61事業 735億円		魅力発信・交流促進 内容 ① 移住・定住の促進 ② 交流人口の拡大 33事業 50億円	

《モニター画像 15》

以上の主要な事業を含め、令和8年度当初予算における総合計画の8つの重点プロジェクトに係る事業は、483事業で、計3,099億円となります。

福島県令和8年度当初予算

予算額 1兆2,606億円
(うち復興・創生分 1,970億円)

16

《モニター画像 16》

新年度は、震災と原発事故から15年が経過し、第3期復興・創生期間がスタートするとともに、県政150周年という節目の年となる中、未曾有の複合災害からの復興・再生に加え、急激に進む人口減少や度重なる自然災害、長引く物価高への対応など、本県は多くの困難な課題を抱えています。

今後も、あらゆる主体との連携・共創の輪を広げながら、福島復興と地方創生を実現するため、全力で挑戦を続けていきます。